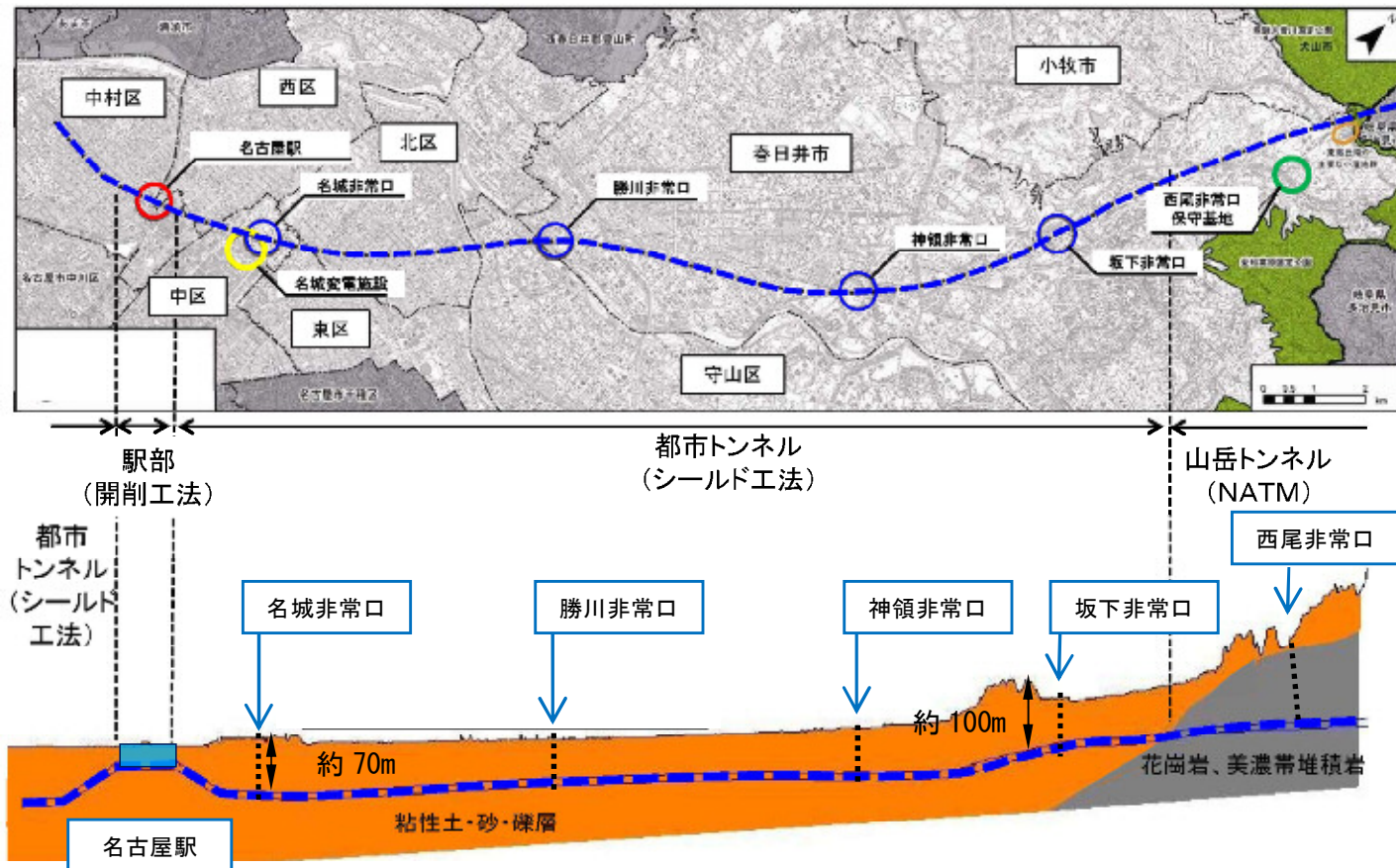


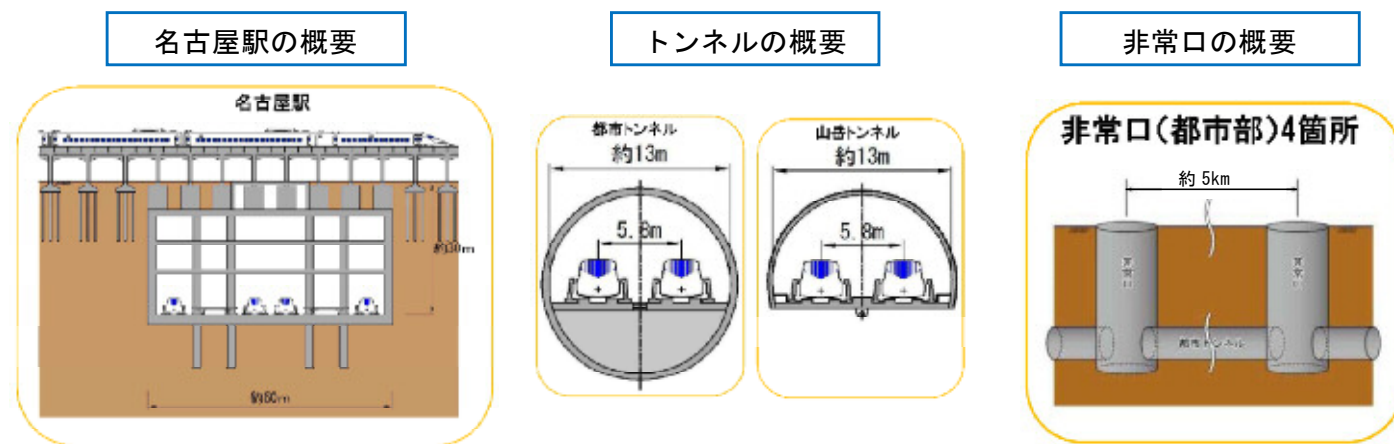
参考

リニア中央新幹線について(愛知県内)



名古屋市 約 8km	春日井市 約 17km
------------	-------------

・路線縦断面図(横の長さに対して縦の長さを約10倍にして表示しています)



リニア中央新幹線の建設促進に関する要望書



2019年11月

愛知県
名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会

要 望 書

リニア中央新幹線は東京・名古屋・大阪間の時間距離を大幅に短縮し、3大都市圏が一体となったリニア大交流圏が誕生します。特に、東京・名古屋間が2027年度に開業されることによって、中部国際空港、新東名高速道路などとともに交流の基盤となる広域交通ネットワークを形成し、本県の経済・社会に大きな波及的効果をもたらすことが期待されています。

このリニア中央新幹線の開業による首都圏との時間短縮効果をより広域的に波及させるために、本県では、名古屋駅を中心とした40分交通圏の拡大など、リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化等の取組を進めているところです。

さらに、リニア中央新幹線の開業により我が国有数の巨大ターミナル駅となる名古屋駅については、交通機関相互の乗換利便性に優れた誰にでも利用しやすい駅とするため、わかりやすい乗換空間「ターミナルスクエア」の形成等によるスーパーターミナル化を推進していく必要があります。

本県内でのリニア中央新幹線の建設は、2016年12月の名古屋駅での工事安全祈願・起工式以降、本格着工されていますが、東京・名古屋間の未着工区間については、国、東海旅客鉄道株式会社及び関係者による調整を円滑かつ迅速に進め、早期着手することが必要です。

つきましては、次の事項について、格別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 1 リニア中央新幹線の早期全線整備に向け、未着工区間については、調整を円滑かつ迅速に進め、早期着手を図ること。また、必要な諸手続の円滑な推進に関して、調整・支援を行うこと。
- 2 リニア中央新幹線開業による時間短縮効果を県内に波及させるため、交通ネットワーク充実等の施策に関して支援すること。
- 3 ターミナル駅となる名古屋駅の乗換利便性の向上、地域の意向を尊重した駅上部空間の有効活用、駅周辺整備に関し、支援すること。また、名古屋駅のスーパーターミナル化について、国家的プロジェクトとして位置づけ、強力に推進すること。

2019年 11月

愛知県知事	大村秀章
名古屋市長	河村たかし
名古屋商工会議所会頭	山本亜土
一般社団法人中部経済連合会会長	豊田鐵郎